



内容解説資料

新編 新しい国語

教科書のご紹介



この資料は、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

「言葉の力」で
未来をひらく。



R7年度中学校特設サイト、随時更新中!

東京書籍 中学校 国語 検索




本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel 03-5390-7355 (国語編集部) Fax 03-5390-7350

支社・出張所

札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260

大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084

ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp> 令和7教 内容解説資料



「言葉の力」は、変わらない。

世界をつくる「言葉」。

そこには「力」がある。

それは、誰もが

秘めているもの。



未来は、分からない。

予測困難な時代。

私たちの未来は、

暗いのだろうか。

明るいのだろうか。



「言葉の力」で未来をひらく。

たとえ、どんな明日が来ようとも、

「言葉」は私たちの、そばにある。

そんな教科書が、そばにある。

教科書の3つの特色

特色 1 「言葉の力」を、生きる力に。…………… 4

これまでも、これからも、東京書籍の国語が
いちばんだいたいになっているのは「言葉の力」。
教材配列や三学年の系統性で、「言葉の力」が自然と深まりながら、
確実に定着する仕組みになっています。

特色 2 国語の授業から広がる未来。…………… 8

言葉を駆使して、自分の、社会の、未来をひらく。
教科書の「未来を考えるための9つのテーマ」や、三領域の多様な教材、
そして新教材「未来への扉」を通して、「言葉の力」が
国語の授業のその先へと生かされます。

特色 3 一人一人の「学びたい」に寄り添う。…………… 12

一人一人、必要な手立てや課題は異なるから。
一斉授業でも、個別の活動でも、家庭学習でも、
豊富なQRコンテンツが生徒の主体的に学びに向かう力を引き出し、
個別最適な学びの実現を後押しします。



各領域の内容

● 読むこと…………… 14

キーワード てびきの三ステップ構成／魅力的な文学教材
／多様なテーマの説明文教材／確かな学力の育成

● 話すこと・聞くこと ● 書くこと…………… 24

キーワード 表現力・説得力／情報収集・情報の整理／協
働的な学び

● 学びを支える言葉の力…………… 26

キーワード 「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の
学び」／「情報の扱い方に関する事項」

● 読書…………… 28

キーワード 読書体験を培う多様な教材／充実の紹介図書

● 古典…………… 32

キーワード 豊かで多彩な資料／文化の継承

● 言葉…………… 33

キーワード 「日本語探検」／「文法の窓」／語彙指導の
充実

編集上の配慮

○ 全ての生徒が
学びやすい紙面への配慮…………… 34

キーワード インクルーシブ教育／ユニバーサル
デザイン／多様性への配慮／造本上の工夫

○ さまざまな課題への取り組み…………… 36

キーワード 学力向上への取り組み／小中・中高
の接続／SDGs等、現代的な諸課題の扱い／
カリキュラム・マネジメント

○ 先生の働き方のサポート…………… 38

キーワード 教師用指導書／学習者用デジタル教
科書／情報発信サイト「こくごスタジオ」



パンフレットの概要を
動画でチェック!



◆学習のポイントがひと目で分かる。

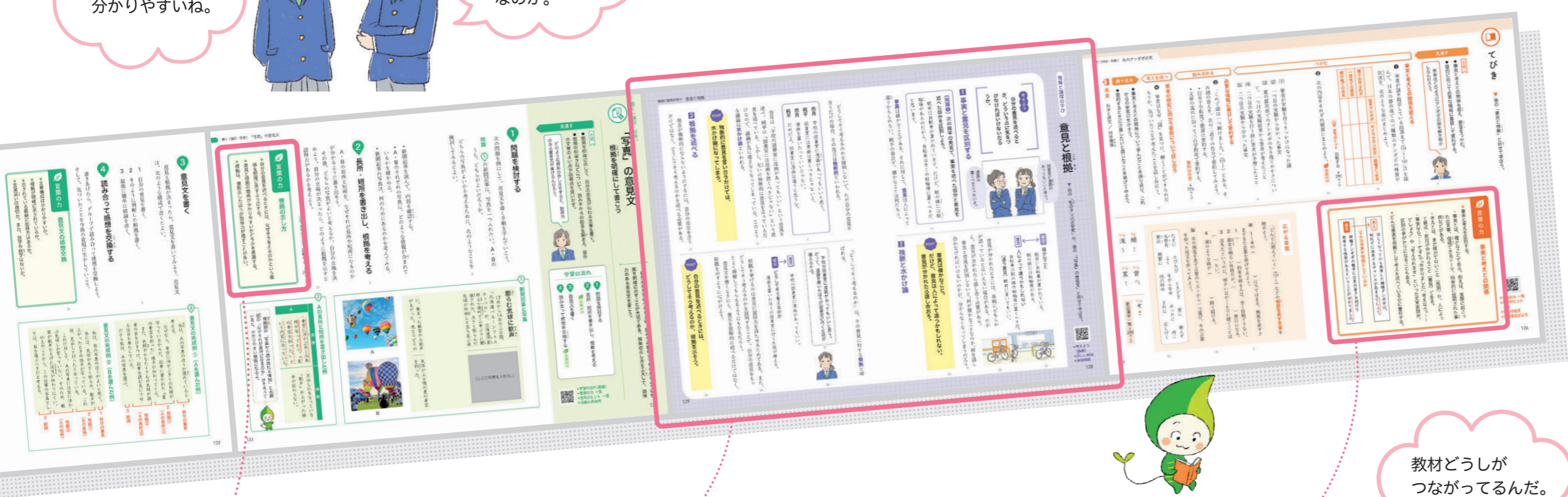
国語の学習で身につける力を、各教材の「言葉の力」に明示しました。学習のポイントが具体的かつ明確に分かります。

◆「言葉の力」が確実に身につく。

「読むこと」の学習を通して身につけた「言葉の力」を、「学びを支える言葉の力」で深め、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材で生かす。教材どうしのつながりによって、身につけた力を確実に定着させる仕組みになっています。



教材どうしがつながってるんだ。



「何を学ぶか」が分かりやすいね。

「言葉の力」が学習のポイントなのか。



読む

学びを支える言葉の力
基礎的な力をつけるための教材

書く

言葉の力 事実と考えとの関係

◆事実と考えを区別する。

- 事実とは、確かなことである。例えば、実際に起こった出来事、信頼できるデータ、科学的に証明された事柄などがある。
- 考えとは、まだ確かでないこと（推測）や、人によって賛成・反対が分かれること（意見）である。
- ◆どんな事実を根拠として考えを述べているかに着目する。

事実	雑種タンポポの種子には夏の暑さを避けて発芽する性質があるということが分かりました。
考え	涼しくなってから発芽した雑種タンポポは、枯れずに成長するチャンスが高まるでしょう。

◆どんな事実を根拠としているか

意見と根拠

◆自分の意見を述べるときには、なぜそう考えるのかという根拠を明確に示すようにする。

◆意見と根拠の関係が分かりやすいかどうかを意識する。

◆根拠は、複数示したほうが説得力が増すことが多い。

言葉の力 根拠の示し方

◆自分の意見を述べるときには、なぜそう考えるのかという根拠を明確に示すようにする。

◆意見と根拠の関係が分かりやすいかどうかを意識する。

◆根拠は、複数示したほうが説得力が増すことが多い。

1年 p.131 『写真』の意見文

1年 p.128 「意見と根拠」

1年 p.126 「私のタンポポ研究」

論理的に思考し、豊かに表現し、伝え合う力。国語の学習で身につける「言葉の力」は、これからの人生や日々の生活を支える、生きる力です。

◆三年間で「言葉の力」が積み上がる。

身につける「言葉の力」を、一学年の中で、そして三年間にわたって、系統的に配置して
います。学習が発展しながら積み上がることで、学びの深まりを実感できます。



1年

2年

3年

読む 構成・展開

情報と論理の学び

書く 伝達

3 分かりやすく伝える

オオカミを見る日
段落の役割・段落どうしの関係

情報の分類・比較

「食文化」のレポート
比較による題材設定
レポートの構成

3 伝え方を工夫する

ネコだって推理できる
文章と図表

情報の関係の表し方

「地域の魅力」の紹介文
材料のさまざまな集め方
推敲の仕方

3 効果的に伝える

絶滅の意味
説得力のある文章

情報の信頼性の確かめ方

「環境」の新聞
情報の信頼性と客観性の吟味
目的に応じた文章の種類と構成

読む 吟味・判断

情報と論理の学び

書く 論証・説得

5 考えをまとめる

私のタンポポ研究
事実と考えとの関係

意見と根拠

「写真」の意見文
根拠の示し方
意見文の感想交換

5 説得力を高める

黄金の扇風機
サハラ砂漠の茶会
文章の読み比べ

意見と根拠の吟味

「地図」の意見文
根拠の吟味
意見文の構成

5 多面的に検討する

受け取る「利他」
批判的に読む

具体例、根拠、反対の関係

「広告」の批評文
広告批評の観点
説得力のある批評文の書き方

読む 言葉とメディア

情報と論理の学び

話す・聞く 話す

7 伝え方を考える

ニュースの見方を考えよう
情報の精査

原因と結果

「似ている言葉」スピーチ
スピーチの構成
聞き手の反応を踏まえた話し方

7 表現を考える

「正しい」言葉は信じられるか
異なる印象を与える構成と表現

具体と抽象

プレゼンテーション
説得力のある話の構成
資料や機器の活用

8 思いを馳せる

いつものように新聞が届いた
——メディアと東日本大震災
情報を深く捉える

7 主題を考える

条件スピーチ
相手や目的に応じたスピーチ
場面に応じた話し方

◆ 九つのテーマから考えを深める。

国語の学習を通して未来について考える手がかりとして、「未来を考えるための九つのテーマ」を設けました。三領域の学習でテーマについて認識を深めながら、未来について、さまざまな視点から考えることができます。

未来への扉

科学と探究

好奇心を働かせて、真理を探究し、創造力を養う。

安全・防災

安全に配慮して生活し、災害から身を守る。

情報社会

情報社会との付き合い方について、理解を深める。

多様性

多様な個性が尊重される社会を実現する。

多様性と共生社会

↓ 220ページ

私たちは、一人一人が固有の価値観や考え方を抱きながら、ともに生きている。それぞれが尊重される社会を実現するには、どんなことが必要だろうか。

十年後、五十年後の未来に、私たちはどのような社会を生活しているだろうか。自分が思い描く未来を実現するには、どんなことが必要だろうか。

この教科書には、「未来を考えるための九つのテーマ」が示されている。それぞれの学習で九つのテーマについて認識を深め、未来について考えてみよう。

学校・社会

学校や社会の課題に目を向け、よりよい社会をつくる。

自己と他者

さまざまな他者と関わり、多様な考えに触れ、自己を見つめる。

平和・国際理解

戦争や紛争について認識を深め、平和の実現に貢献する。

地球環境

自然との関わりに目を向け、持続可能な地球環境について考える。

伝統と文化

伝統と文化を理解・尊重し、その継承と発展に努める。

別冊資料もチェック!



「未来への扉をひらこう」

◆現代社会の課題に向き合う。

各学年末に、特定のテーマについて多角的な視点から考える新教材「未来への扉」を設けました。文章と資料を関連させて理解し、考えを深め、他者と伝え合うことを通して、現代社会の課題と向き合うことができます。

新教材「未来への扉」

これまでに身につけた「言葉の力」を生かして考えを深める教材として、各学年末に「未来への扉」を新設しました。

1年

「多様性と共生社会」
文章と資料を関連づける

2年

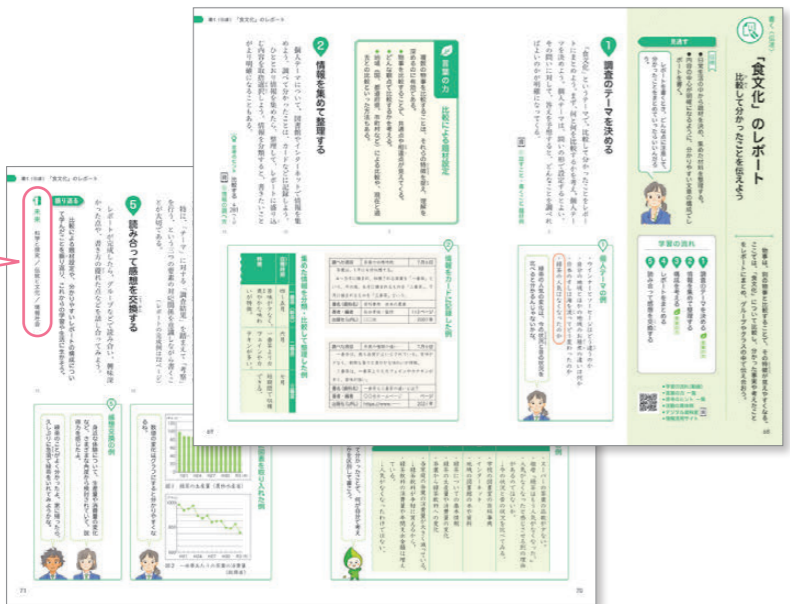
「地球環境と人間社会」
二つの文章を読み比べる

3年

「国際社会と私たち」
グラフを読み取り、解釈する

各教材の「未来」テーマ

三領域の各教材末に、その教材が関連しているテーマを明示しています。学習を振り返る際や、テーマについて考えを深める際に活用できます。



1年 p.68 「食文化」のレポート



未来 科学と探究 / 伝統と文化 / 情報社会

3年「国際社会と私たち」(p.214)

「好きの地平線を探して
——宇宙からウクライナへ」

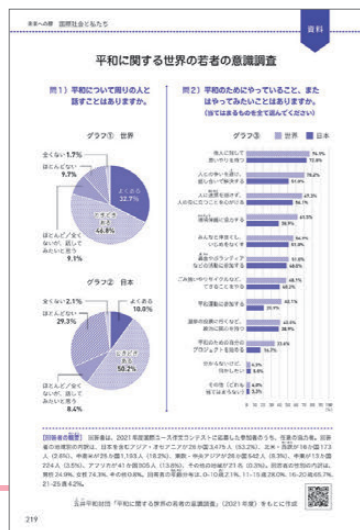
井上榛香



ウクライナに留学経験を持つ、宇宙ライター・井上榛香さんがつづる、等身大の思い。

誰もが心穏やかに過ごすためには、
どうしたらいいのだろうか？

平和に関する
世界の若者の
意識調査



2年「地球環境と人間社会」(p.216)

「共有地の悲劇」
伊勢武史



生態学者・伊勢武史さんが、環境問題が生み出されるメカニズムを、一つの寓話をもとに解説する。

持続可能な地球環境を実現するためには、
何ができるだろうか？

「無理なくできることから」
田中直樹



お笑い芸人として活動しながらMSCのアンバサダーを務める田中直樹さんが、自分たちにできることを考える。

1年「多様性と共生社会」(p.220)

「『ろう者』として生きる」
忍足亜希子



ろうの女優・忍足亜希子さんが、ろう者と聴者のコミュニケーションの在り方について語る。

一人一人が互いに尊重し合うためには、
何がいじなのだろうか？

多様性と
共生社会に
関する資料



「分かるようになりたい。」「もっと学びたい。」そんな一人一人の声に応えるQRコンテンツを豊富にそろえています。教科書紙面のQRコードの先に、国語の新しい学びが広がります。

授業の始めに
みんなで

まずは全員で
学習の流れを
確認しよう。



学習の流れ(動画)

学習の流れ

- STEP 1 話題を決める
- STEP 2 材料を集め、整理する
- STEP 3 構成を考え、スピーチメモを作る
- STEP 4 スピーチの練習と発表をする



家庭での
予習・復習に

発表前に、
もう一度ポイントを
確認しておきたい。



スピーチの例(動画)



「一年話す・聞く・話す」
似ている言葉『スピーチ』での活用例

「夜に眠る言葉」スピーチ

ここから
アクセス!

1年p.174

授業中に
個別の活動で

スピーチで
取り上げる言葉が
思いつかない……。



言葉を広げよう

言葉を広げよう

お相棒	道迷	ウキウキ	先破	駆け出る	目撃!	見やる	眺める	遠望	遠く	一見	見聞
間食	浅歩	さまよう	ランニング	駆け回る	見わたす	のぞく	凝視	凝視	のぞく	見聞	見聞
試食			散歩	疾走!	快走	目をやる	俯瞰	視線を向ける	見聞	見聞	見聞



スピーチの
材料をうまく
整理したいな。

思考のヒント一覧

思考のヒント一覧



どんなふうに
話し合ったら
いいだろう。

活動の具体例

活動の具体例

グループワークで話し合おう

「スピーチの構成」について話し合おう

「スピーチの練習」について話し合おう

「スピーチの発表」について話し合おう



前に学習したことを
生かしたいな。



言葉の力一覧

言葉の力一覧

言葉の力	説明	学習目標	学習内容	学習方法	学習時間	学習場所
言葉の力1	言葉の力1	言葉の力1	言葉の力1	言葉の力1	言葉の力1	言葉の力1
言葉の力2	言葉の力2	言葉の力2	言葉の力2	言葉の力2	言葉の力2	言葉の力2
言葉の力3	言葉の力3	言葉の力3	言葉の力3	言葉の力3	言葉の力3	言葉の力3
言葉の力4	言葉の力4	言葉の力4	言葉の力4	言葉の力4	言葉の力4	言葉の力4
言葉の力5	言葉の力5	言葉の力5	言葉の力5	言葉の力5	言葉の力5	言葉の力5



別冊資料も
チェック!

別冊資料も
チェック!

QRコンテンツで
豊かな学びを実現!

「QRコンテンツで
豊かな学びを実現!」

「QRコンテンツで
豊かな学びを実現!」

学習の仕組み

目標と、生徒の問いかけを確認し、学習の流れを見通す。

ステップ1 構成・展開や大体の内容をつかむ。

ステップ2 内容や書き方について読み深める。

ステップ3 自分の考えを持ち、共有する。

POINT 3ステップで、学習を段階的に深めることができます。

1年 p.190 「少年の日の思い出」

少年の日の思い出

ヘルマン・ヘッセ
高橋健二・訳

客は夕方の散歩から帰って、私の書齋で私のそばに腰かけていた。昼間の明るさは消えようとしていた。窓の外には、色あせた湖が、丘の多い岸に鋭く縁取られて、遠くかなたまで広がっていた。ちょうど、私の末の男の子が、おやす

読む(文学3)

構成の工夫に着目して読むこと、どのようなことが分かるだろうか。

1 書齋
2 お目にかける
3 斎

てびき

見通す

●場面と場面、場面と描写の結び付け、作品を読み深める。
●構成の工夫や表現の効果について考える。
●構成の工夫に着目して読むこと、どのようなことが分かるだろうか。

つかむ

●この作品は、「私」と「客」の会話を中心とした前半部分(190・191・192・193)と、「客(僕)」の回想から成る後半部分(192・193・202・203)に分かれている。それぞれの場面で起こった出来事を整理しよう。

読み深める

●人物の思いを想像する
① 「僕」のチョウ集めの場面(192・193)から、「僕」がどんな少年だったのかを捉えよう。また、「僕」の視点から見たエミールはどんな少年だったのだろうか。
② 「僕」のチョウ集めの場面(192・193)から、「僕」がどんな少年だったのかを捉えよう。また、「僕」の視点から見たエミールはどんな少年だったのだろうか。

考えを持つ

●現在の「客」の思いについて話し合う
⑤ 現在の「客」は、この話で語られている「思い出」をどのように受け止めているだろうか。考えたことを話し合おう。
●「たすけ」 前半部分と後半部分に分かれている構成にも着目しよう。

振り返る

●場面と場面、場面と描写の結び付けについて学んだことを振り返り、これからの学習に生かそう。
●語り手・視点に着目することで、印象が変わったりおもしろく感じたりしたところを挙げてみよう。

未来 自己と他者

言葉の力 語り手・視点

登場人物の行動や心情、起こった出来事などを読者に語っている人物を語り手という。
「私」や「僕」などの一人称で書かれている場合、読者は視点人物の目から作品を眺めることになる。

語り手「私」視点人物
客(友人)
「僕」視点人物
エミール

別の登場人物の視点に立つことで、作品の印象が変わってくる可能性がある。

視点「僕」
↓
作品の印象
視点 エミール
↓
作品の印象

広げる言葉

「その緊張と歓喜ときたら……」(194)のような心情を表す言葉を増やそう。

(a) 1・2の文について、そのときの人物の心情を表す言葉を考えよう。
1 学校の時間だろうか、お昼ご飯だろうか、もう塔の時計が鳴るのなんか、耳に入らなかった。(193・1)
2 そしてチョウを一つ一つ取り出し、指で粉々に押し潰してしまっただ。(202・13)

(b) 次の心情を表す言葉のリストから一つ選び、その言葉を使った短文を作ってみよう。

不安が募る 葛藤 遺憾 遺恨 くさくさする
嫉妬 戦慄 郷愁 背筋が凍る 憧憬

下13 藤(葛) 葛 (カキツ)

下14 嫉 憾 (カシ)

下14 愁 憬 (シユウ)

下14 憬 凍 (トウ)

新出漢字一覧 292ページ

POINT 学んだことを、自分の言葉でまとめる。

POINT 各教材の目標や「言葉の力」を意識しながら振り返ることができる内容となっています。

関連する「未来を考えるための9つのテーマ」について考えを深める。



POINT QRコンテンツ「言葉を広げよう」には、15カテゴリーで、1870語の言葉の、意味と用例を示しています。

言葉を広げよう

お相棒	遺恨	ウツキ	産産	駆け回る	見わたす	眺める	遠望	一見
閑食	混歩	さまよう	ランニング	駆け回る	見わたす	のぞく	遠望	一見
試食	混歩	散策	歩む	疾走	快走	併走	視線を向ける	一見

教材文をもとに、語彙を増やす。

POINT 抽象的な内容の理解を、図解が助けます。

「言葉の力」を確認し、読解のポイントを押さえる。

必要に応じて、QRコンテンツを活用する。

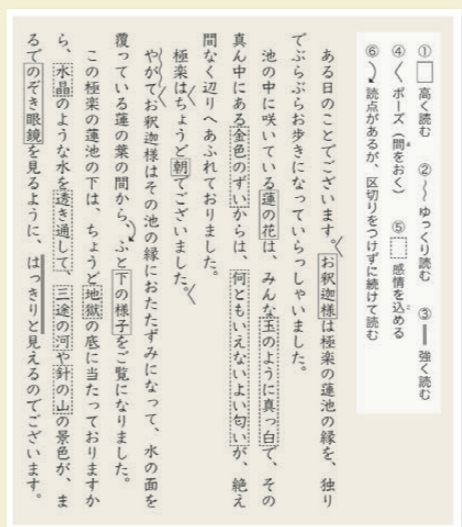
生徒の問いかけを意識しながら、教材を読む。

読むことへ文学



1…魅力が詰まった新教材

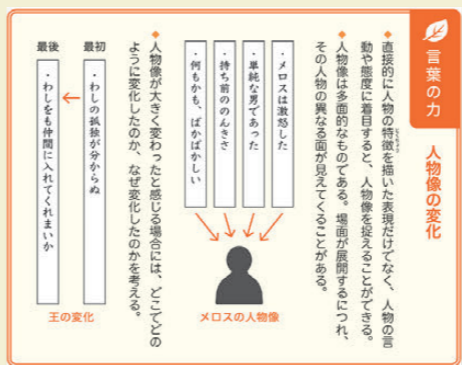
- 他者と関わることでさまざまな価値観に触れながら、自己を見つめることをテーマにした小説を新しく掲載しました。
- 一年「私たちの未来」(朝井リョウ)
- 二年「足跡」(瀧羽麻子)
- 言葉への感性を豊かにすることをテーマにした随筆を新しく掲載しました。
- 二年「あの夕暮れへ帰る」(原田マハ)
- 三年「世界への入り口」(温又柔)
- 一年冒頭の教材「朗読の世界」(魚住りえ)は、朗読の工夫を実際に声に出して確かめながら、学習を進めることができます。



1年p.20「朗読の世界」

2…色あせない名作

- 東京書籍として大切にしてきた教材を掲載しています。
- 一年「さんちき」(吉橋通夫)
- 三年「形」(菊池寛)
- 三年「百科事典少女」(小川洋子)
- 中学校の国語の授業に欠かせない定番の教材を掲載しています。
- 一年「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ)
- 二年「走れメロス」(太宰治)
- 三年「故郷」(魯迅)
- 継続して掲載している教材でも、てびきや「言葉の力」を見直しています。



2年p.200「走れメロス」

3…想像力を養う詩歌

- 各学年の巻頭のほか、本編の二か所で詩を扱っています(日本語のしらべ/詩の言葉)。
- 各学年に八つある扉のページには、中学生の琴線に触れる詩歌を掲載しています。巻頭口絵で一覧することもできます。
- 各学年に詩歌の鑑賞文を設けています。表現の細部に向き合い、想像力を養うことができます。
- 三年の「書くこと」の教材「俳句の創作と句会」の後に、季語をめぐるコラム(川上弘美)を新設しました。



3年p.28「私の好きな季語『雪間』」

1…魅力が詰まった新教材
新鮮な物語が、響く。

1年
私たちの未来 朝井リョウ

全部新品のままがいいと思っていたけれど、
そうでもないのかもしれない。



教科書もノートも制服も靴も、全部が新品のままがいいと考えていた主人公のさくらは、前の席に座った女子生徒との交流を通して、古びていくものの価値に気づかされる。他者と関わる中で変容していく自己を描いた物語。

2年
足跡 瀧羽麻子

この華々しく明るい壇上に
立つべきなのは、私じゃない。



中高生写真コンテストで審査員特別賞を受賞することになった「私」。しかし、受賞したその写真は、弟が撮影した一枚だった。罪悪感を抱えて葛藤する「私」の心理を丁寧に描いた物語。

2... 色あせない名作
名作は、揺るがない。



2年

走れメロス 太宰治

人の心を疑うのは、
最も恥ずべき悪徳だ。



3年

百科事典少女

小川洋子

なかでも彼女が最も愛したのは、
百科事典だった。

1年

さんちき 吉橋通夫

——おらも、いつしよに
作ったんやで！
自分が任された
カシの木の本の矢が、
白く輝いて見えた。



3年

形 菊池寛

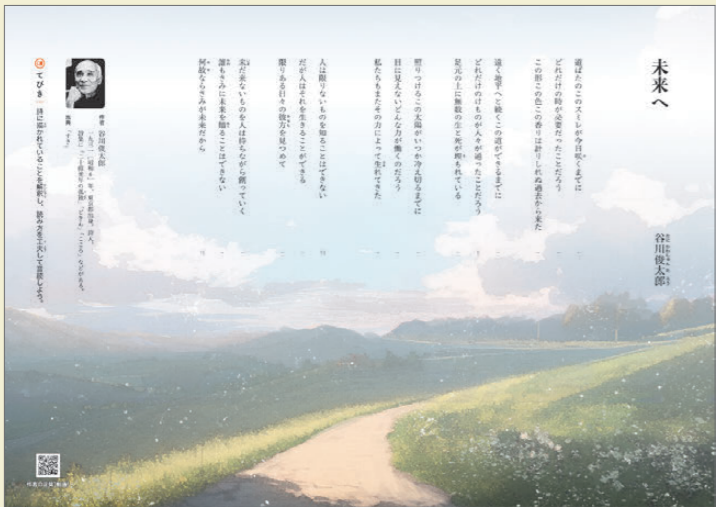
猩々緋と唐冠のかぶとは、
戦場の華であり
敵に対する脅威であり
味方にとっては
信頼の的であった。



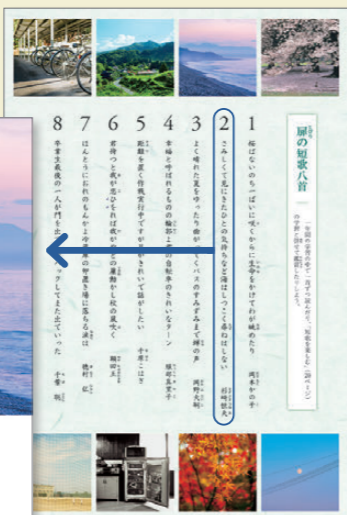
3... 想像力を養う詩歌
言葉の世界は、詩歌で広がる。

巻頭詩

- 1年 風の五線譜 高階紀一 (たかしなきいち)
- 2年 未来へ 谷川俊太郎 (たにがわしんたろう)
- 3年 生命は 吉野弘 (よしのひろし)



2年 巻頭「未来へ」



2年 巻頭口絵「扉の短歌八首」



2年 p.31 扉



3年 p.126 「初恋」

日本語のしらべ

- 1年 月夜の浜辺 中原中也 (なかはらちゅうや)
- 2年 落葉松 北原白秋 (きたはらしらく)
- 3年 初恋 島崎藤村 (しまざきふじむら)

扉の詩歌

- 1年 扉の詩八編 銀色夏生 ほか (ぎんいろなつを)
- 2年 扉の短歌八首 服部真里子 ほか (はつりま)
- 3年 扉の俳句八句 正木ゆう子 ほか (ただきゆうこ)

読むこと〈説明文〉



1…多様なテーマ

●生徒が興味・関心を広げたり、社会の出来事に目を向けたりとできるように、幅広いテーマを扱っています。

【もの見方や考え方】

- 一年「オオカミを見る目」(高槻成紀)
- 二年「黄金の扇風機」(田中真知) / 「サハラ砂漠の茶会」(千住博)
- 三年「受け取る『利他』」(中島岳志)

【科学的探究】

- 一年「私のタンポポ研究」(保谷彰彦)
- 二年「ネコだって推理できる」(高木佐保)

【地球環境】

- 三年「絶滅の意味」(中静透)

【安全・防災】

- 三年「いつものように新聞が届いた」(メディアと東日本大震災)(今野俊宏)



1年p.58「オオカミを見る目」

2…学力向上を支える

●PISA調査や全国学力・学習状況調査などの結果分析を踏まえ、生徒の課題を解決するための手立てを工夫しました。

【複数の文章や資料を読み比べる】

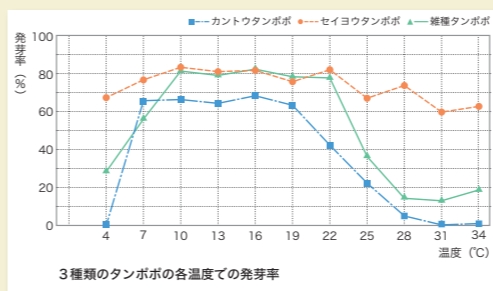
- 一年「ニュースの見方を考えよう」(池上彰)
- 二年「黄金の扇風機」/「サハラ砂漠の茶会」
- 二年「正しい『言葉は信じられるか』」(香西秀信)
- 三年「絶滅の意味」

【文章と図表を関連づける】

- 一年「私のタンポポ研究」
- 二年「ネコだって推理できる」
- 三年「条件に従って記述する」

【条件に従って記述する】

- 二年「黄金の扇風機」/「サハラ砂漠の茶会」
- 三年「受け取る『利他』」



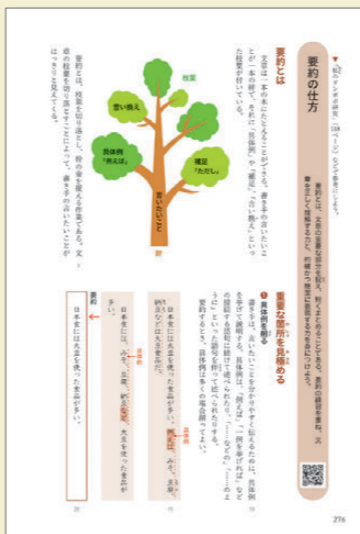
1年p.121「私のタンポポ研究」

3…情報活用能力を鍛える

●てびきの中で、「思考のヒント」(思考ツールの活用を促しています。資料編やQRコンテンツでは、思考ツールの使い方を解説しています)。

●〈言葉とメディア〉系統では、メディアリテラシーを学ぶことができます。メディアへの接し方について考えを深めるだけでなく、書く活動を通して、言葉の効果的な使い方も身につけることができます。

●一年資料編には「要約の仕方」を掲載しています。文章を正しく理解し、的確かつ簡潔に表現する力の育成を重視しています。



1年p.276「要約の仕方」

1…多様なテーマ
広い世界に目を向ける。

もの見方や考え方

3年

受け取る「利他」

「利他」と「利己」。

この両者は、反対語というよりも、どうもメビウスの輪のようにつながっているものようです。



「利他」はどのような瞬間に生まれるのか。二つの身近な事例をもとに、「利他」を「受け取る」ものとして捉え直す評論文。

安全・防災

3年

いつものように新聞が届いた

——メディアと東日本大震災

今野俊宏

震災を記憶にとどめることは、未来の社会につながると信じた。だからこそ、記者たちは今もなお震災と向き合い、伝え続けている。



あの日から13年の時が経過してもなお、そのときに起こったことを伝える意味。新聞記者がつづる思いとは。

1年p.280「思考のヒント」

思考のヒント

② 文章中に示された二つの問いに、筆者はどのように答えているだろうか。それぞれの問いと答えを、表や図にまとめよう。

③...情報活用能力を鍛える

情報社会を生き抜くために。

QRコンテンツ「思考のヒント」

思考のヒント

1年 オオカミを見る目 高槻成紀

3...情報活用能力を鍛える

情報社会を生き抜くために。

② 文章中に示された二つの問いに、筆者はどのように答えているだろうか。それぞれの問いと答えを、表や図にまとめよう。

③...情報活用能力を鍛える

情報社会を生き抜くために。

QRコンテンツ「思考のヒント」

てびきでは、「思考のヒント」として思考ツールの活用を促しています。資料編やQRコンテンツでは、さまざまな思考ツールと、その使い方を紹介しています。

メディアリテラシー

1年 ニュースの見方を考えよう 池上彰

「言葉とメディア」系統のてびきでは、情報の受信と発信の、両方の側面から考えることで、メディアリテラシーを高めることができます。

1年 ニュースの見方を考えよう 池上彰

条件に従って書く

⑤ 「利他」について自分はどうのように考えるかを、次の条件で書いてみよう。

【条件】・三十字以上、四百字以内で書く。

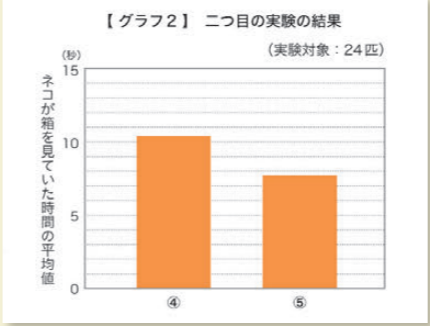
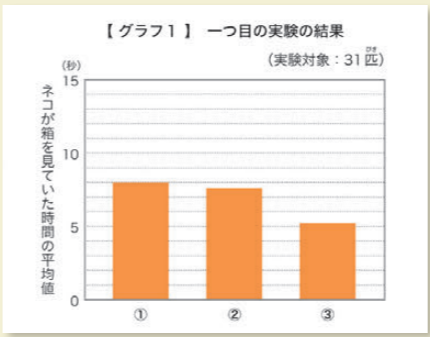
・「受け取る『利他』や資料『利己』と『利他』」(112ページの、文章中の言葉を引用する。

【たすけ】「受け取る『利他』と『利己』と『利他』を重ねて読んで、筆者の考え方の違いに着目するとよい。

3年 受け取る「利他」 中島岳志

複数の教材に、自分の考えを条件に従って書く設問を用意しました。この設問では、文章の引用の仕方も扱っています。

図表と関連づける



ネコの推理能力を証明するために、筆者は実験を繰り返します。それぞれどのような条件で行い、どのような結果になったのかを、文章と図表から捉えます。

2年 ネコだって推理できる 高木佐保

読み比べる

ニュース① 大谷、孤軍奮闘むなしく 連敗止まらず

米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手がマリナーズ戦に出場し、9回に27号の2ランホームランを放つなど4安打4打点の大活躍を見せた。しかし、チームは7対11で敗れた。

大谷は初回の第1打席にライト前ヒットを放つと、5回にセンター前タイムリーヒット、7回にはタイムリー三塁打。さらに6点を追う9回の場面では、真ん中に入った変化球をはじき返して27号2ラン。敗色濃厚な試合で意地を見せた大谷は、表情を変えずにダイヤモンドを一周した。大谷が孤軍奮闘するも、チームは投手陣が2桁失点を喫し、ふがない3連敗となった。

ニュース② 4安打4打点の大暴れ エンゼルス・大谷

米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手がマリナーズ戦に出場。チームは7対11で敗れたものの、大谷は9回に27号の2ランホームランを放つなど4安打4打点の大活躍を見せた。

大谷は初回の第1打席で、二塁間を破る5試合連続安打。5回に迎えた第3打席でも、センター前へのタイムリーヒットを放った。さらに7回の第4打席では、相手ピッチャーの速球を打ち返し、強烈な打球をライトへ運ぶと、俊足を飛ばして前日に続く三塁打とした。そして迎えた9回の第5打席、真ん中に入った変化球を強振。27号2ランを左中間へたたき込んだ。3年ぶりの1試合4安打と大暴れし、好調ぶりを見せつけた。

「正しい」言葉が人を欺くことがある。教材文を読んで理解した内容を、実際のニュースを読み比べることを通して確かめます。



2年 「正しい」言葉は信じられるか 香西秀信



「美」をテーマに書かれた二つの評論文を読み比べ、自分の知識や経験と結び付けながら考えを深めます。

読み比べる

2年 黄金の扇風機 田中真知 サハラ砂漠の茶会 千住博

2...学力向上を支える

確かな学力を育む。

話すこと・聞くこと



書くこと



学習の仕組み

目標と生徒の問いかけ、学習の流れから学習を見通す。

必要に応じて、教科書巻末の資料編やQRコンテンツを活用する。

「食文化」のレポート

比較して分かったことを伝えよう

見通す

- 日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理する。
- 内容の中心が明確になるように、分かりやすい文章の構成でレポートを書く。

見通す

「食文化」というテーマで、比較して分かったことをレポートにまとめよう。まず、何と何を比較するかを考え、個人テーマを決めよう。個人テーマは、問いの形で設定するよ。

1 調査のテーマを決める

個人テーマの例

- ・ウインナーとソーセージはどう違うのか
- ・自分の地域とほかの地域のお雑煮の違いは何か
- ・日本のすしは海を渡ってどう変わったのか
- ・緑茶の人気はなくなったのか

学習の流れ

- 1 調査のテーマを決める
- 2 情報を集めて整理する
- 3 構成を考える
- 4 レポートをまとめる
- 5 読み合って感想を交換する

- 学習の流れ(動画)
- 言葉の力 一覧
- 思考のヒント 一覧
- 活動の具体例
- デジタル資料集
- 情報活用サイト

1年 p.68 「食文化」のレポート

3 構成を考える

書く内容が決まったら、構成を考えよう。その際、調べて分かった事実は「調査結果」、それをもとに自分で考えたことは「考察」として、両者の区別を意識しよう。

調査結果を伝える箇所では、伝えたい情報をいくつかのまとまりに分け、それをどんな順序で示すと分かりやすいかを考えて構成を決めよう。

構成メモの例

1 テーマ	・スーパーの茶葉の品数が少ない。 ・祖母「緑茶はもう人気なくなった。」 ・人気はなくなったと感じさせる別の理由があるのではないか。 ・今の状況と昔の状況を比べてみる。
2 調査方法	・学校の図書室の百科事典 ・地域の図書館の本や資料 ・インターネット
3 調査結果	・緑茶についての基本情報 ・緑茶の生産量や消費量の変化 ・茶葉から緑茶飲料への変化
4 考察	・各家庭の茶葉の消費量が大きく減っている。 ・緑茶飲料が手軽に買えるから。 ・緑茶飲料の消費量や年間支出金額は増えている。 ・人気はなくなったわけではない。

何が調べて分かったこと、何が自分で考えたことなのかを区別して書こう。

言葉の力

レポートの構成

- 1 テーマ 次のような構成で書くよ。
 - 2 調査方法 どんな方法で調べたかを示す。
 - 3 調査結果 調べて分かった事実を中心に書く。
 - 4 考察 自分の考えをまとめる。
 - 5 参考資料 参考にした資料とその出典を示す。
- 「調査結果」は、まとまりごとに分け、示す順序を考える。

4 レポートをまとめる

構成が決まったら、レポートをまとめよう。題名は、テーマがよく伝わるものにするよ。

本文は、基本的な構成に沿って見出しで区切って書いていく。必要に応じて図表も取り入れよう。さらに、調査結果については、まとまりごとに小見出しを付けて分かりやすい。特に、「テーマ」に対する「調査結果」を踏まえて「考察」を行う、という三つの要素の対応関係を意識しながら書くことが大切である。

レポートに図表を取り入れた例



5 読み合って感想を交換する

レポートが完成したら、グループなどで読み合い、興味深かった点や、書き方の優れた点などを話し合ってみよう。

比較による題材設定や、分かりやすいレポートの構成について学んだことを振り返り、これからの学習や生活に生かそう。

感想交換の例

身近な体験について、生産量や消費量の変化など、さまざまな角度から検討されていて、説得力を感じた。

緑茶のことがよく分かったよ。家に帰ったら久しぶりに急須で緑茶をいれてみようかな。

「言葉の力」を確認し、言語活動に生かす。

書く(伝達)「食文化」のレポート

書く(伝達)「食文化」のレポート

目標や「言葉の力」を意識しながら学習を振り返り、学んだことを自分の言葉でまとめる。

POINT

QRコンテンツに、活動の具体例の完全版を用意しています。

QRコンテンツも用意しています。

3年 p.280 「思考のヒント」

1...表現力を豊かに

- 詩歌の鑑賞から、詩歌の創作へ。文学の読解から、描写の学習へ。直前の学習を、続く言語活動に生かせる教材配列となっています。
- 表現を磨くのに役立つコラムを設けました。

1年 p.35 「さまざまな表現技法」

2...説得力を磨く

- 根拠を吟味し、主張を論理的に組み立てる(論証・説得)システムを設けています。

〈論証・説得〉システムの「言葉の力」

- 一年「写真」の意見文……根拠の示し方
- 二年「地図」の意見文……根拠の吟味
- 三年「広告」の批評文……説得力のある批評文の書き方

3...情報収集・情報の整理

- 情報収集の際に、情報の信頼性を確かめることを重視しています。
- 「思考のヒント」として、情報の整理に有効な思考ツールを多数取り上げています。

4...協働的な学び

- 学習の中で、周りの人と感想や意見を交換する手順を多く設けています。
- 「話すこと・聞くこと」では、互いの意見を尊重しながら合意を形成することを重視しています。

学びを支える言葉の力

学習の仕組み

「考えよう」で、課題を確かめ、学習の見通しを持つ。

前後の教材と関連させて学ぶ。

必要に応じて、QRコンテンツを活用する。

- ・考えよう（動画）……授業の導入に。
- ・詳しい解説……学習を深めるために。
- ・練習問題……理解の確認・定着に。

情報と論理の学び

意見と根拠

前の「私のタンポポ研究」や、後の「写真」の意見文と併せて学ぼう。

図書室に漫画があってもいいと思う。

「考えよう」 自分の意見を述べるとき、どういった点に気をつけなければいけないだろうか。

1 事実と意見を区別する

【問題①】次の純平の発言で、事実を述べた部分と意見を述べた部分を区別しよう。

駅前には自転車が置かれています。だけど、駅の隣には駐輪場があるのだから、自転車はその駐輪場に置くべきだと思います。

事実：駅前には自転車が置かれています。
意見：駅の隣には駐輪場があるのだから、自転車はその駐輪場に置くべきだと思います。

【問題②】「違う意見」駅前には置いてもいい。

意見：駅前には置いてもいい。
事実：駅前には駐輪場がある。

意見が分かれたときには、単純にどちらかが誤っているとはいえない場合がある。だから、意見が分かれたら話し合う必要がある。

事実と意見を区別しないと、何が確かなことなのか、何を話し合わなければいけないのかが、分からなくなってしまったり、意見が分かれたら話し合う必要がなくなる。

2 独断と水かけ論

POINT 事実：駅前には置いてもいい。だけど、意見は人によって違うかもしれない。意見が分かれたら話し合おう。

「どうしてそう考えるのか」は、その意見に対する根拠と呼ばれる。

POINT 学校の図書室に漫画があってもいいと思う。だって、漫画を置いたほうが図書室に行く生徒が増えるから。

意見：学校の図書室に漫画があってもいい。
根拠：漫画を置いたほうが図書室に行く生徒が増える。

POINT 学校の図書室に漫画があってもいい。奈月は「学校の図書室に漫画があってもいい」という意見を述べ、純平は「図書室には漫画を置くべきじゃない」という意見を述べている。しかし、互いに独断的に意見を言っているだけなので、議論が先に進まなくなってしまっている。このような議論は水かけ論といわれる。

POINT 独断的に意見を言い合うだけでは、水かけ論になってしまふ。

3 根拠を述べる

POINT 自分の意見を述べるときには、どうしてそう考えるのか、根拠を示そう。

POINT 根拠を挙げるのは意見に説得力を持たせるためである。また、どうしてそう考えるのかを説明することで、自分の意見をもっとよく理解してもらえるようになるだろう。意見文を書くときにも、意見を独断的に述べるだけではなく、根拠を示すように心がけよう。

1年 p.128 「意見と根拠」

3つの系統

- 1 情報と論理の学び**（情報の扱い方に関する事項）に対応
情報の整理や、情報と情報との関係（論理）について学ぶ。「読むこと（説明文）」「書くこと」「読むこと（説明文）」の学習を支える力を身につける。
- 2 文学の学び**
文学の読解の基礎を学ぶ。「読むこと（文学）」の学習を支える力を身につける。
- 3 対話の学び**
対話の基礎を学ぶ。「話すこと・聞くこと」「読むこと（説明文）」の学習を支える力を身につける。

身近な題材をもとに、ステップを踏んで、内容を理解する。

「POINT」で、学習のポイントを押さえる。

「書くこと」で生かす

1年 p.131 「『写真』の意見文」

「学びを支える言葉の力」で深める

1年 p.128 「意見と根拠」

「読むこと」でつながり

1年 p.126 「私のタンポポ研究」

2…前後の教材とのつながり

「学びを支える言葉の力」は、関連の深い三領域の教材の前後に配置されています。前の「読むこと」教材の学習をさらに深めたり、後の「書くこと」教材で学習を生かしたりすることが出来ます。

1年 p.66 「情報の分類・比較」

仕事	暮らし方	自分の在り方
<ul style="list-style-type: none"> 野球選手になりたい。 親の店を継ぎたい。 好きな英語を主とする仕事に就きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 海の近くに住みたい。 大家族でぎやかに暮らしたい。 いろいろな国に住んでみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 困っている人を助けられる人になりたい。 自分の意見を言えるようになりたい。

次に、その共通点を見出しにして、グループを作ろう。そして、そのグループに入れられるものがほかにないか探してみよう。さらに、残ったものも、同じように分類してみよう。

分類すると、情報全体の傾向や特徴が分かりやすくなる。

1…「情報の扱い方に関する事項」

● 現行の学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」は、「情報と論理の学び」で扱っています。

● 全学年に、「情報の整理」に対応する教材と、「情報と情報との関係」に対応する教材を設けています。

● 「情報の整理」に対応する教材では、図表で情報を整理する方法（思考ツール）について学ぶことができます。

読書



1…多様な教材で構成

- 各学年とも「読書1」「読書2」の二か所て扱っています。多様な教材が「自ら本を手を伸ばす」生徒を育てます。
- 「読書と情報」では、これからの時代に必要情報活用能力を育みます。
- 「読書活動」では、生徒が興味を持って主体的に取り組める活動を設定しています。

読書経験を培う多様な教材

読書案内

読書活動

読書への招待

読書と情報

2…「きっかけ」を生徒たちに

- 「読書2」の「読書への招待」は、これまでの教科書にはなかったような、新たな視点で取り組める教材にしました。
- さまざまな読書の在り方を提示することで、生徒が本に手を伸ばすきっかけを生みだします。

「読書2」 「読書への招待」の内容

3年	2年	1年
<p>「お試し読書のすすめ」</p> <p>小説、ノンフィクションなど、ジャンルの違う四冊を取り上げ、一部分を掲載しています。</p>	<p>「メディアの垣根を越えて」</p> <p>アニメーションや映画など、一つの作品がさまざまなメディアに展開された例を取り上げています。</p>	<p>「本との付き合い方」</p> <p>六人の作家が、それぞれ「本を読むこと」について書いた文章を取り上げています。</p>

3…充実の紹介図書

- 教科書全体で四二冊の図書を紹介しています。「世界を広げる本」「夏休みにおすすめの本」など、各学年五か所に紹介コーナーを設けています。
- 「世界を広げる本」の中には、著名人による図書紹介コラム「私のおすすめ」を設けています。

- 図書を紹介する人物
- 梯 久美子 (ノンフィクション作家)
 - 村治佳織 (ギタリスト)
 - 斉藤壮馬 (声優)
 - 加藤シゲアキ (アーティスト)
 - 野村萬齋 (狂言師)
 - 星出彰彦 (宇宙飛行士)

私のおすすめ

「世界を、こんなふうに見てごらん」
日高敏隆

知らないうちを知るのが好きです。特に、決められた正解を与えてもらわずに「よりよ」な「な」を探求していく過程が。

「世界を、こんなふうに見てごらん」は、まさに「な」を突き詰める楽しさを教えてくれる一冊です。世界には真実や真理などいろいろなものはないのかもしれない。ほんとう全てが「イリュージョン」なのだとしたら、世界は意外、どうでもなるものだ。日高さんはそう語ります。

この本は、世界に対する見方を押しつけるものではないです。僕たち一人一人のまなざしを持ち方によって、心の置きどころによって、あらゆるものの見え方が変わる。ユーモラスな筆致で、そんな大切なことを示唆してくれている気がします。

2年 p.181 「世界を広げる本 ほかのメディアへ」

1…多様な教材で構成

読書と情報
図書館活用や情報リテラシーなど、情報活用能力を育む教材を掲載。

2年 p.76 「インターネット・新聞の活用」

読書活動
ポップ作りやビブリオバトルなど、生徒が興味を持って取り組める活動を設定。

1年 p.188 「本のポップ」

読書への招待
読み物教材や、読書のきっかけになるようなさまざまな内容の教材から構成。

1年 p.78 「平和のバトン」

読書案内
「読書への招待」と関連するテーマから、生徒に読んでほしい図書をセレクト。

1年 p.88 「世界を広げる本 戦争・平和」

- 「読書1」掲載の読み物教材
- 1年 平和のバトン 弓狩匡純
 - 2年 鯉節——世界に誇る伝統食 小泉武夫
 - 3年 何のために「働く」のか 姜尚中

関連するテーマ

2…「きっかけ」を生徒たちに

1年 お試し読書のすすめ

ジャンルの違う四冊を取り上げ、その一部分を掲載。生徒の興味・関心に応じた読書への誘いが展開されます。

ノンフィクション

羽生結弦

あくなき挑戦の軌跡

満園文博

前年の11月9日、大阪でとれたNHK杯の公式練習で、羽生選手は驚きを見せた。4回転ルッツという、超高難度のジャンプを試しているとき、着氷に失敗、右足首を痛めてしまったのだ。このときは、立って氷の上を歩きましたが、痛みを受けるほど大げなことがわかった。もちろん、NHK杯には出場できません。すぐに、本拠地として練習を続けてきたカナダのトロントに帰ってまいりました。それ以降、羽生選手の姿は見られなくなりました。その後は、なかなか日本に羽生選手の動向は伝えられませんでした。

「羽生は、大丈夫か？」

「もう、平昌オリンピックには出られないかもしれない。なご、それも心配の種の一つで、さらには、出られないとしても、ジャンプに対する恐怖が残っているかもしれない。」

平昌で、実戦のリンクに立ったのは、前年10月のグランプリ(GP)シリーズ・モスクワ大会以来、実に1年8日ぶりのことでした。

「〇一八年、平昌オリンピックの男子フィギュアスケート、二回目のショートプログラムで、羽生結弦選手は、誰よりも美しい滑りでセブに立った。それは、多くの人たちにとって、感動的なことだった。」

た、会場の観客も、全国のファンも、喝采を飲んで、羽生選手の演技を見守ります。静まり返る会場に、静かにピアノの演奏が流れはじめます。そして、20秒後、羽生選手が最初のジャンプを踏み切ります。高い難度の回転ルッツです。高く舞い上がるように回転して、しなやかに氷上に降り立ったのです。まっすぐ伸びた軸は、自分の狂いなく、見事なジャンプでした。会場は、割れるような歓声、拍手に包まれました。

「素晴らしい滑りには出られないかもしれない。なご、それも心配の種の一つで、さらには、出られないとしても、ジャンプに対する恐怖が残っているかもしれない。」

平昌で、実戦のリンクに立ったのは、前年10月のグランプリ(GP)シリーズ・モスクワ大会以来、実に1年8日ぶりのことでした。

1年 p.182

3年 本との付き合い方

またむねおき、もぎれいちろう、ひらのけいいちろう、わかまつたけ、むむむらし、おんだりく、又吉直樹、茂木健一郎、平野啓一郎、若松英輔、森博嗣、恩田陸の六人が、「本を読むこと」について語ります。

森博嗣

工学研究者・小説家

自分の行動は、自覚できる、考えていることもわかる。しかし、他人の行動は、目の前には見えない。だから、他人の行動は、目を見なければわからない。できない。考えていることは、顔を見なければわからない。だから、他人の行動は、目を見なければわからない。できない。考えていることは、顔を見なければわからない。...

恩田陸

小説家

読書とは、突き詰めていくと、孤独の喜びだと思う。人は誰にも孤独だし、人は誰よりも孤独だ。だから、読書は、孤独の喜びだと思う。人は誰にも孤独だし、人は誰よりも孤独だ。だから、読書は、孤独の喜びだと思う。...

3年 p.182

2年 メディアの垣根を越えて

「時をかける少女」「この世界の片隅に」を取り上げ、一つの作品が、どのようにほかのメディアに展開されているのかを紹介します。

時をかける少女

大林宣彦・監督

一九八三年の青春映画『時をかける少女』では、高校生芳山和子が主人公である。和子と清りの人物との関係を中心に、物語が展開していく。

脚本 時をかける少女 劇持 夏

脚本 時をかける少女 劇持 夏

○背景・内

ガチャット……かすかなガラス器具の触れ合う音。和子、ガチャットと、奥の方を透かし見る……薬品棚の向こうは、薄暗くてよく見えない。

和子「誰か……」

「誰か……」

和子「誰か……」

「誰か……」

和子「誰か……」

「誰か……」

和子「誰か……」

「誰か……」

和子「誰か……」

「誰か……」

時をかける少女

アニメーション映画

時をかける少女 監督 細田守

「〇〇六年のアニメーション映画『時をかける少女』では、高校三年生の活発な少女、相野舞が主人公である。学校生活の話し高が現代的になり、主人公の名前や性格も異なっている。

絵コンテ

177

2年 p.176

3…充実の紹介図書

「世界を広げる本」のほか、「夏休みにおすすめの本」「未来を考える本」など、所要所に図書を紹介するページを設定しています。

夏休みにおすすめの本

夏

スポーツ

DIY

自然

2年 p.86 「夏休みにおすすめの本」

未来を考える本

未来を考える本

スチーム16歳の日記

未来を考える本

3年 p.222 「未来を考える本」

紹介図書は、**計 422冊!**

「夏休みにおすすめの本」**32冊**

「未来を考える本」**44冊**

その他**55冊**

「中学生におすすめの本」**202冊**

「世界を広げる本」**89冊**

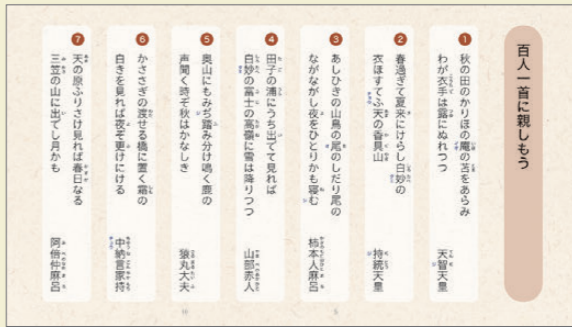
古典

1…豊富で多彩な資料

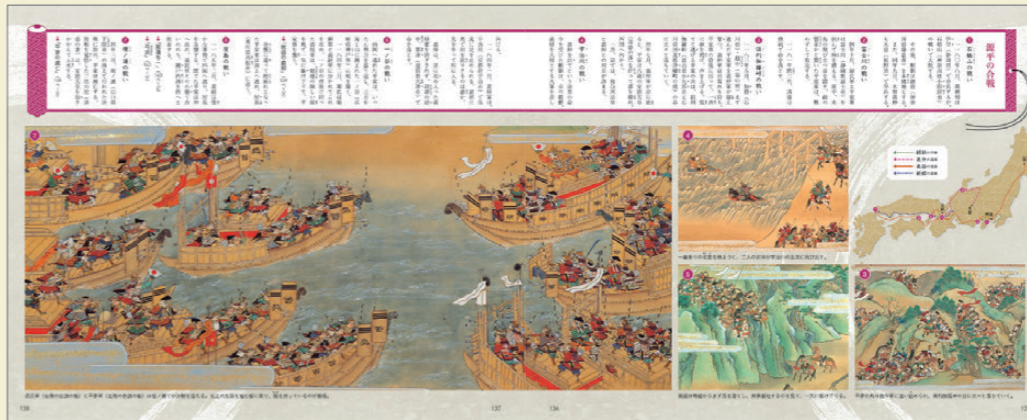
- 全学年に、折り込みを使ったビジュアル資料を用意しています。
- 各教材にコラム「資料」を新設し、古典作品をより身近に感じられる工夫をしています。
- 朗読動画や解説動画、補充教材など、個別最適な学びを実現するQRコンテンツを豊富にそろえています。



3年 p.137 「万葉・古今・新古今」



QRコンテンツ
「百人一首に親しもう」



2年 p.135 「平家物語」

2…文化の継承

- 古典の世界と現代とのつながりを感じられるよう、解説文やてびき、資料を工夫しました。
- 一年の導入教材「移り行く浦島太郎の物語」では、親しみやすい題材をもとに、古典の継承について考えることができます。

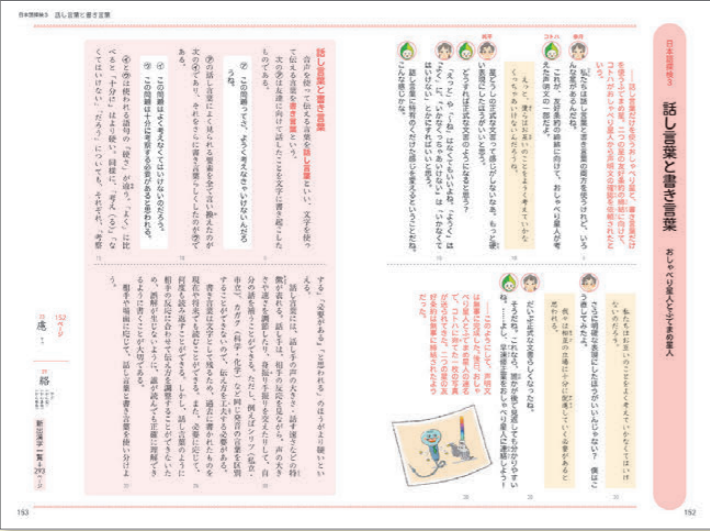


1年 p.140 「移り行く浦島太郎の物語」

言葉

1…日本語に親しむ工夫

- 日本語の決まりや特徴を学ぶ「日本語探検」は、ストーリー仕立ての導入ページと、学習の要点をまとめた解説ページで構成しています。日本語に親しみながら、知識や技能を定着させることができます。



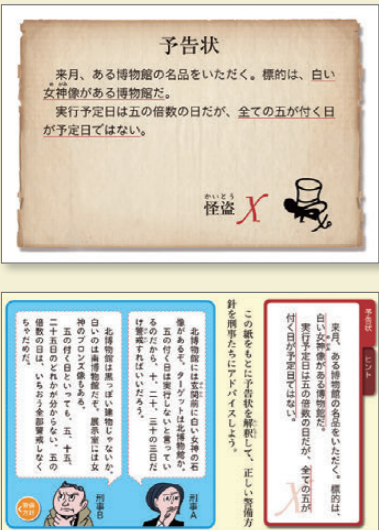
2年 p.152 「話し言葉と書き言葉」

2…ゲーム仕立てで学ぶ文法

- 文法の導入教材「文法の窓」は、苦手意識のある生徒も取り組みやすいように、ゲーム仕立てになっています。QRコンテンツも用意しており、生徒自身が操作しながら学ぶことができます。



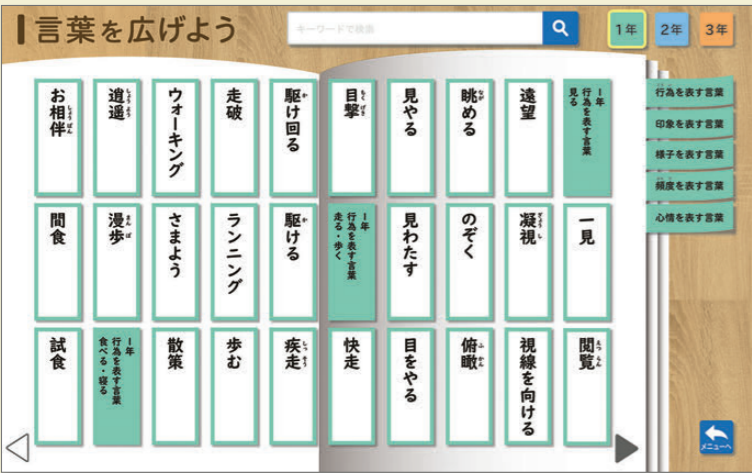
3年 p.48 「表現に生きる文法」



QRコンテンツ「表現に生きる文法」

3…語彙指導の充実

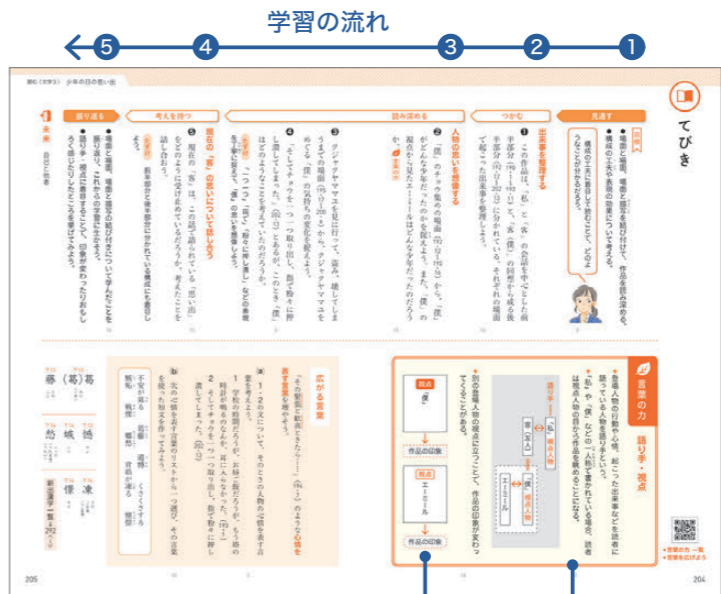
- 「読むこと」教材のてびきの中にある「広がる言葉」では、作品中の表現に関連付けてさまざまな言葉を学ぶことができます。
- QRコンテンツ「言葉を広げよう」では、一八七〇語の言葉の意味や用例を確認することができます。



QRコンテンツ「言葉を広げよう」

インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン

◆ だじなところや学習の流れなどがひと目で分かるように、デザインを工夫しました。



図で視覚的に説明

(右) 1年 p.204
(左) 2年 p.95

POINT
同じ人物でも、さまざまな側面があり、人物像の多面性が見えてくることもある。

だじなところ

◆ 色の違いで区別する場合には、必ずマークや文字情報に加え、色以外の要素でも区別できるようにしました。

1年 p.233

文の成分には、次の五種類がある。

- 主語
- 述語
- 修飾語
- 接続語
- 独立語

誰が 笑う。 → 誰が (主語) 笑う。 (述語)

花が きれいだ。 → 花が (主語) きれいだ。 (述語)

絵理が 班長だ。 → 絵理が (主語) 班長だ。 (述語)

花が きれいだ。 → 花が (主語) きれいだ。 (述語)

◆ 行を数えやすいように、行末に、数字と点を付けました。

2年 p.184

行末に、数字と点を付けてみました。

10 . . . 5 . . .

◆ 未習漢字だけでなく、小学校で学習しない漢字には全て、教材の初出箇所に振り仮名を付けた。

2年 p.184

メロスは激怒した。必ず、かの邪知暴には政治が分からぬ。メロスは、村の牧けれど悪邪に対しては、人一倍に敏感え山越え、十里離れたこのシラクス町もない。十六の、内気な妹と二人暮らし花婿として迎えることになっていた。結嫁の衣装やら祝宴のごちそうやらを買

◆ 筆遣いや字形を書き文字に近づけた、特別な明朝体を使用しています。漢字の書き方や画数が分かりやすい書体です。

「新編新しい国語」の明朝体

心衣家泳込

一般的な明朝体

心衣家泳込

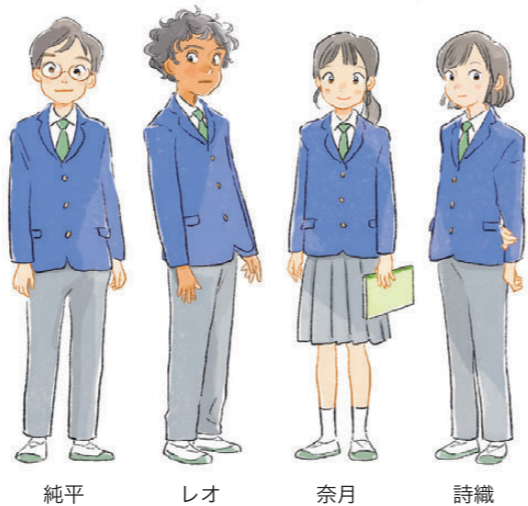
外国籍の生徒の学びやすさも考えました。



多様性への配慮

● キャラクターの多様性

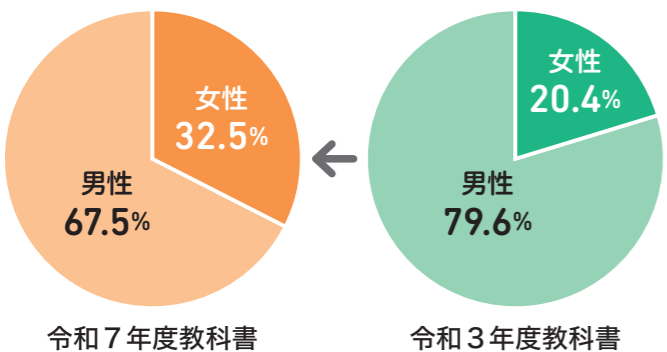
教科書に登場する四人の生徒（詩織、奈月、レオ、純平）に、多様性を持たせました。多様なルーツやジェンダーレスな制服、左利きなど、実際の教室を想定してキャラクターを描きました。



● 著者の多様性

教科書を通して多様な考え方に触れられるよう、掲載している作品の著者の、社会的属性や年齢、性別等に偏りが出ないように心がけました。例えば、令和3年度教科書では、全体の二割だった女性の著者が、令和7年度教科書では、三割強に増えました。

著者の女性・男性の割合



造本上の工夫

● ページ数の削減

生徒の身体的負担を軽減するために、各学年ともページ数を減らしました。学習の参考や深化・拡充のための資料は、紙の教科書からQRコンテンツに移すことで、各学年三十ページ以上、三学年では百ページ以上の削減を実現しました。

QRコンテンツには、従来より多くの資料を用意しており、生徒は必要に応じて、ICT端末を使って閲覧することができます。

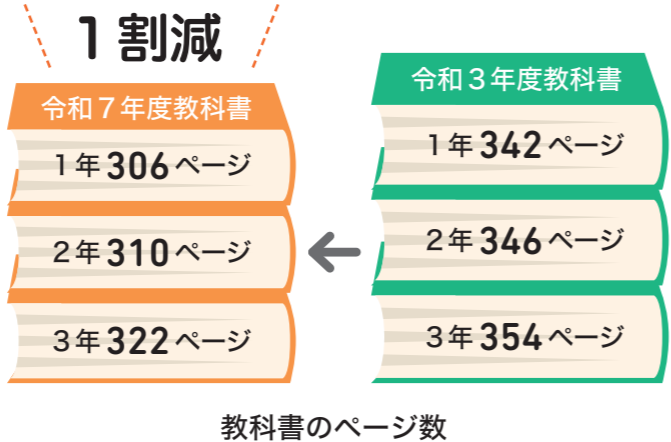
● 用紙の軽量化

本文用紙は、十分な強度を保ちつつ軽量化し、裏写りを抑えました。軽くて、しかも、文字の見やすい用紙で、生徒の健康に配慮したものとなっています。

● 再生紙・植物油インキの使用

環境への配慮から、再生紙および植物油インキを使用しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。

ページ数の削減、用紙の軽量化、再生紙・植物油インキの使用により、持続可能な地球環境の実現にも貢献しています。



学力向上への取り組み

PIISA調査や全国学力・学習状況調査、および東京書籍が実施する標準学力調査の結果を分析し、明らかにした課題を意識して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動、「読むこと」のてびきを設定しています。

〈主な課題〉

- ◆言葉の抑揚や強弱、話す速さ、間の取り方など、話し方を工夫する。
- ◆引用の仕方を正しく理解して書く。
- ◆複数の条件に従って書く。
- ◆段落相互の関係（意見と根拠、具体例の関係など）を捉え、文章の構成や展開について考えたり、説得力のある文章を書いたりする。
- ◆複数の文章や、文章と資料を読み比べる。
- ◆文章と図表を対応させて読んだり、複数の図表を比べたりする。
- ◆文脈に即して語句の意味を捉える。

今の時代に求められる学力を育成します。



2年p.111「黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会」

考えを持つ	読み深める
<p>④ 「美」についての自分の考えを、次の条件で書こう。</p> <p>【条件】・百字以上、二百字以内で書く。</p> <p>・二段落構成とする。第一段落には、文章中の言葉を引用しながら、自分の立場を明示する。第二段落には、自分の知識や経験を根拠として示し、自分の考えを書く。</p> <p>自然、芸術（絵画・音楽・映画など）、ファッション、スポーツなど、さまざまな分野から例を探してみよう。</p>	<p>② 二つの文章の主張とそれを支える根拠を、共通点と相違点を意識しながら整理しよう。</p> <p>③ 二つの文章について、説得力を高めるための文章の構成や表現の工夫を見つけ、その効果について話し合おう。</p>

- 複数の条件
- 読み比べ
- 主張と根拠、具体例の関係

1年p.279「著作権と引用」

引用の仕方
かぎ括弧を使って示す

日本ではオオカミが神のように敬われていた理由について、高橋成紀さんは、「オオカミを見る目」(□□社、二〇一一年)の中で、「つまり、米を軸にした農業を営んだ日本では、稲を食べる草食獣を殺してくれるオオカミは神として敬われるようになったのです」(□ページ)と述べている。

段落を替へ、前後を一行空けて、「一、二字下げて示す」

日本ではオオカミが神のように敬われていた理由については、次のような説がある。

つまり、米を軸にした農業を営んだ日本では、稲を食べる草食獣を殺してくれるオオカミは神として敬われるようになったのです。

(高橋成紀「オオカミを見る目」、□□社、二〇一一年、□ページ)

- 引用の仕方

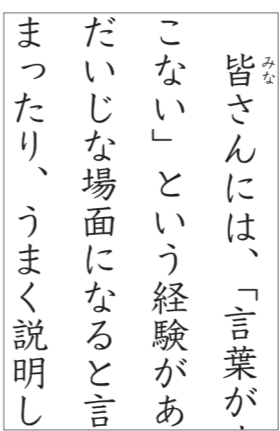
小中・中高の接続

目標や「言葉の力」の設定から、作品や言語活動の選定まで、小中高校の国語の学習全体を見通して行いました。

●小中の接続

- ◆一年の最初の教材は、小学校と同じ教科書体の、大きな活字で示しました。
- ◆一年の前半の教材は、文章量を抑え、小学校の復習となる内容にしました。
- ◆東京書籍発行の令和六年度小学校「新編新しい国語」この整合性を踏まえ、系統性やコーナー名を設定しています。

1年p.16「朗読の世界」(最初の教材、原寸大)



- 教科書体
- 大きな活字

●中高の接続

- ◆三年では、社会生活を意識した言語活動や、報道・評論文を扱いました。
- ◆三年の教材「形」に付属したコラム「生まれ変わる作品」は、高校一年の必修科目の「言語文化」を見据えました。

カリキュラム・マネジメント

●他教科との関連

他教科の学習内容と関連し、相互に学びを深めることのできる教材に、教科関連マークを示しました。

書写の学習が生きる教材では、教科関連マークとともにQRコードを示し、書写の教科書紙面(東京書籍発行)が見られるようにしました。

3年p.50「絶滅の意味」

理科

- 教科関連マーク

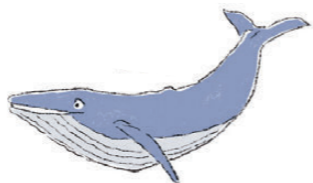
●道徳科との関連

道徳科の四つの視点と、二十二の内容項目を意識して、作品や言語活動を選定しました。人間としての生き方について、多面的・多角的に考えることのできる教材をそろえました。

なお、各教材に示した「未来を考えるための九つのテーマ」を手がかりに、カリキュラム・マネジメントを考えることも可能です。

SDGs	未来を考えるための9つのテーマ	関連する教材
11 住み続けられるまちづくりを	3年 リンクマップによる話し合い(救急車有料化の是非)	2年 私のタンポポ研究(探究の姿勢)
8 働きがいも経済成長も	3年 いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災(災害と復興)	2年 ネコだって推理できる(探究の姿勢)
10 人や国の不平等をなくそう	3年 合意形成を目指す話し合い(災害への備え)	1年 多様性と共生社会(人権と多様性の尊重)
5 ジェンダー平等を實現しよう	3年 本との付き合い方(学び方)	2年 プレゼンテーション(みんなで楽しめるスポーツ)
4 質の高い教育をみんなに		3年 「広告」の批評文(補助犬への理解)
11 住み続けられるまちづくりを		2年 「地域の魅力」の紹介文(地域の魅力)
8 働きがいも経済成長も		2年 「地図」の意見文(まちづくり)
11 住み続けられるまちづくりを		3年 何のために「働く」のか(働く意味)

SDGs	未来を考えるための9つのテーマ	関連する教材
9 産業と雇用創出	2年 インターネット・新聞の活用(情報技術)	
12 つくばない資源を大切に	2年 意見と根拠の聞き方(フラスチックごみの削減)	
13 気候変動に具体的な対策を	2年 地球環境と人間社会(持続可能な地球環境)	
14 海の豊かさを守ろう	2年 絶滅の意味(生物多様性・生態系の保全)	
15 陸の豊かさも守ろう	2年 「環境」の新聞(生物多様性・生態系の保全)	
17 パートナリシップで目標を達成しよう	2年 条件スピーチ(海岸の清掃活動)	
16 平和と正義をすべての人に	1年 平和のバトン(戦争体験の継承)	
16 平和と正義をすべての人に	2年 字のない葉書(戦争文学)	
16 平和と正義をすべての人に	2年 わたしが一番きれいだったとき(戦争文学)	
16 平和と正義をすべての人に	3年 生ましめんかな(戦争文学)	
16 平和と正義をすべての人に	3年 国際社会と私たち(国際平和の希求)	



教師用指導書

- **指導者用デジタル教科書（教材）**
学習者用デジタル教科書と同一規格のビューア「Entrance Reader」を採用しています。電子黒板やプロジェクターによる演示が可能です。
- **研究編**
年間指導計画や、教材の詳しい解説、標準的な指導展開例を掲載しています。
- **ワークシート・評価問題集**
「研究編」掲載の指導展開例に対応したワークシート、「読むこと」「古典」「学びを支える言葉の力」「言葉」の評価問題を掲載しています。
- **音声CD**
作品の朗読、「話すこと・聞くこと」の音声、聞き取り問題を収録しています。
- **指導書コンテンツライブラリー**
作品のテキストデータやワークシート・評価問題のデータ、教科書の総ルビ・分かち書きPDF、Google Workspace for Education などの学習支援ソフトウェアに対応したコンテンツなどを用意しています。コンテンツの更新や追加も適宜行います。
- **指導編（朱書）**
教科書紙面に教材の解説や指導のポイントを赤字で付記しています。

注目機能

テキスト活用モード

「読むこと」教材の全文をスクロールしながら閲覧し、必要な部分をテキストデータとして取り出すことができます。ICT端末のクリップボードにコピーし、Google Workspace for Education や、Microsoft Teams 等、さまざまな授業支援システムに貼り付けるなどして活用することができます。

生徒が自分のICT端末で活用することも可能です。

MY教科書エディタ

教科書のテキスト、図版、写真、挿絵などを取り出して自由にレイアウトできるほか、テキストをアレンジしたり、外部の写真等のデータを貼り付けたりして、オリジナル教材を作ることができます。

豊富なコンテンツ

そのほかにも、指導書ならではのコンテンツを豊富に用意しています。

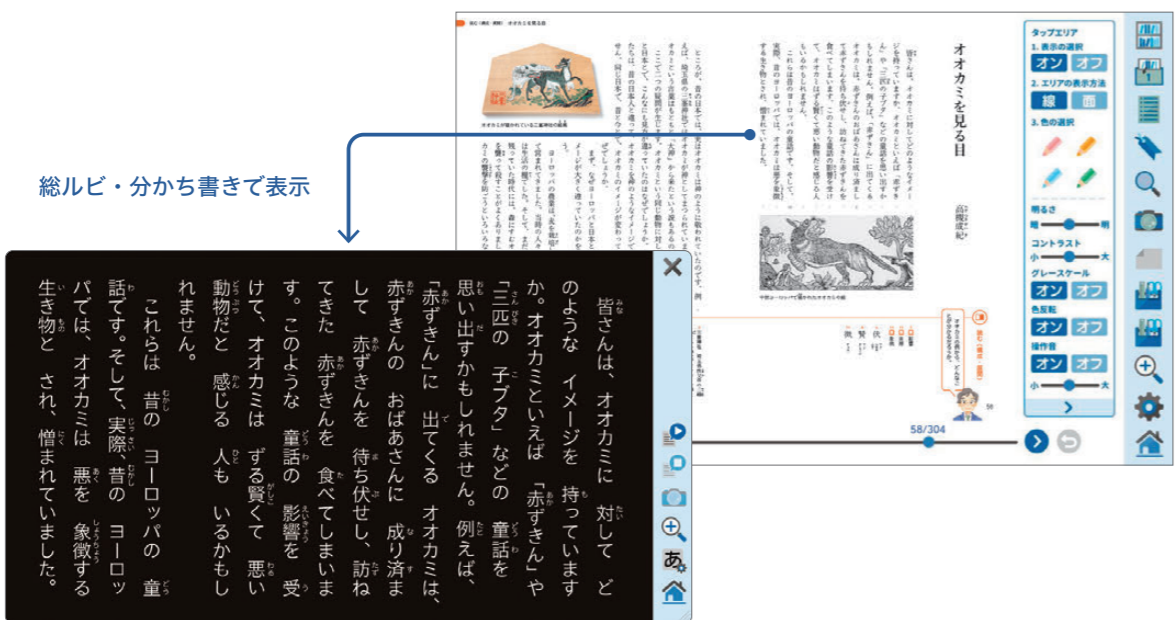
- 作品の朗読音声や「話すこと・聞くこと」の音声
- 著者インタビューや教材に関連する動画
- 漢字の小テスト

*テキスト活用モードは、URLを配信することで、授業に必要な範囲で生徒に共有できます。公衆送信にあたっては、学校設置者からSARTRASへの届け出と補償金の支払いが必要です。
*取り出したテキストは、Google翻訳などのサービスを利用して翻訳することも可能です。日本語指導が必要な生徒の理解を助けます。

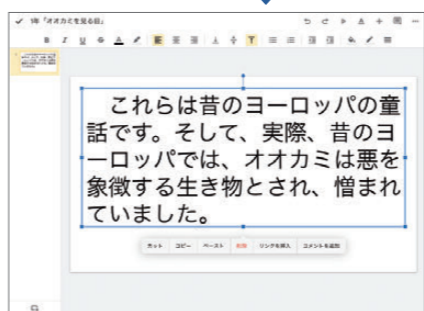
*全ての商品は制作中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

学習者用デジタル教科書

- **複数の教科を一括管理**
東京書籍をはじめ、複数の発行者が採用するビューア「Entrance Reader」を用いています。さまざまな教科・教材を一括管理できます。
- **学習を支える便利な機能**
教科書紙面に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。学習記録としてそのまま保存することもでき、生徒の主体的な学びを支えます。
- **特別支援教育への対応**
文字の色や大きさ、行間などを、読みやすいように調整したり、図版や写真などを拡大したりすることができます。また、本文を読みあげたり、総ルビ・分かち書きで表示したりする機能は、視覚障害や発達障害等のある生徒だけでなく、急増する帰国・外国人生徒など、日本語を読むことが苦手な生徒の学びを助けます。
- **QRコンテンツの活用**
学習者用デジタル教科書では、画面のQRコードをクリックするだけで、QRコンテンツを利用できます。



コピー＆ペースト



Googleスライドに貼り付けた例

情報発信サイト「まぐろスタジオ」

国語で、何をどう教えればいいのか。さまざまな教育課題にどう対応すればいいのだろう。——そんな悩みを持つ先生たちを応援したいという思いから、情報発信サイト「まぐろスタジオ」をオープンしました。

毎月三回の更新を予定。先生が日々の授業や教材研究に役立つものから、ちょっとした息抜きに読める記事まで、さまざまな情報を配信します。



*画像は2023年12月時点

著作関係者

■代表

相澤秀夫 宮城教育大学名誉教授

野矢茂樹 立正大学教授

青山之典 福岡教育大学大学院教授

秋田哲郎 筑波大学附属中学校主幹教諭

浅井哲司 香川大学講師

浅野佑一 仙台市民図書館主査

浅間雅彦 元神奈川県横須賀市立久里浜中学校教諭

浅海大地 広島県広島市立広島中等教育学校教諭

有田勝秋 真和中学・高等学校講師

有松浩司 広島県竹原市立忠海学園教諭

飯塚洋介 鳥取県米子市立東山中学校教諭

伊木 洋 ノートルダム清心女子大学教授

池田 修 京都橋大学教授

岩間正則 鶴見大学教授

石見健二郎 東京都北区立田端中学校主任教諭

上江洲朝男 琉球大学教職センター教授

大澤由紀 元千葉県習志野市立第五中学校教頭

大瀧英津子 宮城県大和町立大和中学校主幹教諭

大林克暢 香川県宇多津町立宇多津中学校校長

岡本恵里香 広島大学附属東雲中学校教諭

奥山文子 千葉県市川市立市川小学校学校司書

菊池英慈 金沢学院大学准教授

北川雅浩 熊本大学准教授

倉本憲一 神奈川大学講師

幸坂健太郎 北海道教育大学准教授

小林康宏 和歌山信愛大学教授

坂部宏明 福井県福井市社中学校教諭

佐藤明宏 香川大学特命教授

芝谷圭太 大阪府摂津市立第四中学校首席

清水由貴子 聖心女子大学准教授

菅原康晴 宮城県利府町立しらかし台中学校教諭

杉原敦子 島根県安来市立広瀬中学校教諭

関 良子 福井県永平寺町松岡中学校教諭

宗 愛子 山崎学園富士見中学校高等学校司書教諭

高橋加奈子 常翔学園高等学校教諭

田川理紗 福島県相馬市立中村第二中学校教諭

竜田 徹 佐賀大学准教授

筑田周一 女子聖学院中学校高等学校教諭

千葉 聡 歌人・神奈川県横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校教諭

辻村重子 京都府京田辺市立大住中学校指導教諭

寺崎沙由美 福井県福井市足羽第一中学校教諭

常盤 隆 公益社団法人日本教育会専務理事

冨田圭一 宮城県仙台市立幸町中学校主幹教諭

中西一彦 関西国際大学教授

中野貴文 学習院大学教授

中村寛治 兵庫県姫路市立山陽中学校教頭

難波博孝 広島大学大学院教授

西村敦子 兵庫県たつの市立龍野西中学校教諭

野津忠宏 島根県松江市立第三中学校主幹教諭

橋本香菜 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校教諭

馬場 誠 東京都調布市立第八中学校校長

林 千華子 福井県福井市市川西中学校教諭

廣瀬 充 東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭

藤本梨紗 東京都国分寺市立第一中学校主任教諭

堀江敏幸 作家・早稲田大学教授

増岡三四郎 宮崎県宮崎市立大宮中学校教諭

増田ゆか 大阪学院大学短期大学部講師

町田崇子 東京都杉並区立泉南中学校学校司書

松崎正治 同志社女子大学教授

松田里香 広島県東広島市立松賀中学校教諭

宮城洋之 東京都連雀学園三鷹市立第一中学校校長

森田香緒里 文教大学教授

森 美智代 福山市立大学教授

矢島正浩 愛知教育大学教授

矢田貝和志 鳥取県大山町立名和中学校教諭

矢田 勉 東京大学大学院教授

山内 修 元宮城県仙台市立長町中学校校長

山田圭一 千葉大学大学院教授

吉川隆行 元宮城県富谷市立成田中学校校長

吉川史朗 福井県福井市杉坂中学校教諭

吉田幹生 成蹊大学教授

渡部洋一郎 上越教育大学副学長・教授

■特別支援教育に関する校閲

海津亜希子 明治学院大学教授

道面美紀 東京都墨田区立本所中学校指導教諭

■ICTの活用に関する校閲

稲垣 忠 東北学院大学教授

緒方広明 京都大学教授

小柳和喜雄 関西大学教授

小崎誠二 奈良教育大学客員准教授

泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授

寺澤孝文 岡山大学教授

■編集協力

相澤めぐみ 元東京都荒川区立小学校学校司書

唐澤智之 神奈川学園中学・高等学校司書教諭

高桑弥須子 元千葉県市川市立行徳小学校学校司書

原田敦史 東京女子大学教授

牧 藍子 成蹊大学准教授

三宅やよい 俳人

東京書籍株式会社 ほか14名

* 「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。

* Lentrance は、日本国、米国、及びその他の国における株式会社 Lentrance の登録商標または商標です。

* Google、Google Workspace for Education、Google スライド、Google 翻訳は、Google LLC の商標です。

* Microsoft Teams は、マイクロソフトグループ企業の商標です。

* The United Nations Sustainable Development Goals

web site: <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.



表紙に寄せて

●イラストレーター 中村至宏

自然とともにある人と人との触れ合い、コミュニケーションをテーマに表紙を描きました。誰もが一度は感じたことがあるかもしれない永遠に思えるような風景と、ただ現象として私たちがともに存在し、世界に漂っている心地よさをイメージしています。言葉で伝えられること、言葉以外でしか伝えられないことの両方があって人生があること、その広がりを感じながら、この教科書を開く皆さんの人生が豊かでありますようにと願いを込めました。

なかむら・ゆきひろ

画家、イラストレーター。1983年生まれ。奈良県出身。書籍の装画や挿絵、広告、CDジャケットのイラストレーションなどを制作。無数の水滴によってつくられる虹という現象のように、この世界をはかないものと捉え、制作している。